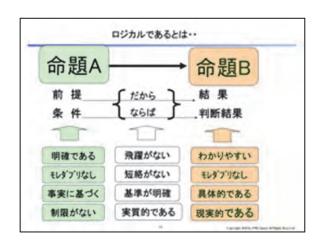
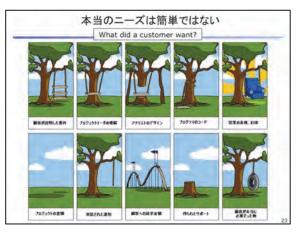
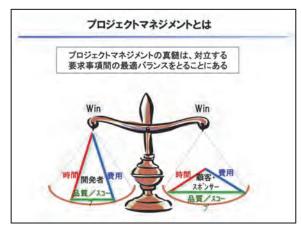
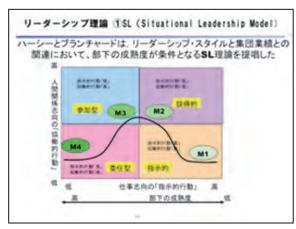
3.4.2 リーダーシップ特別講義

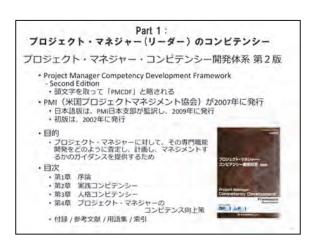
リーダシップは、目標を実現するため、関係者の力を最大限に引き出し、プロジェクトを成功に導くための行為である。これを行うための目標(夢)、志、価値観、役割、機能(旗振り・指示、盛り上げ、仕組み等)を学ぶ。実際のリーダシップの事例等を取り上げる。













IT ソリューション特論 3.4.3

パッケージソフトウェアとしてはオフィス業務のために Word、Excel 等のオフィススイーツが普及し ているが、各種の業務ソリューションのために ITS(課題管理)、BPM、CRM、コラボレーション等、業 務のベストプラクティスの実装としてのパッケージソフトウェアが存在する。これらを効果的に活用し、 低コストのうちに業務効率を劇的に改善するために、IT ソリューションの概要と、各種ソリューションソ フトウェアの特徴、事例等を学ぶ。

事業アーキテクト

- 従来の仕組みを改革し、当該成長産業分野の加速度的成長を実 現する
 - マネシメントとIT技術等の破壊的技術を駆使し、イノペーションを誘発し、産業の新陳代謝を引き起こすべく、事業開発を効率・効果的に実行し、生産性・付加価値を高める。
 - 事業開発として、実際に描いた戦略を自ら事業の構築、連用までを実現 できる。
- 《修得する知識・スキル等》
 - ・ 戦略 (経営、マーケティング、リーダーシップ、スタートアップ等) ・ 技術 (IT、製品開発、デザイン、マネジメント等)

 - 当該分野の業務知識・現状・課題
 - · 各種のメソッド及びITツール(課題管理、CRM、コラボレーション等)
 - . 法規·倫理
 - 。事例研究及びPBL(Project Based Learning)

6

ベストプラクティス

- ある問題を解決するための最良の手法・事例等のこと。
 反復等によって、効率的・効果的に問題解決が図れることがわかっている。 ス重法等。
 - + ある基準によって、最優秀の評価を受けた手法等。
- 既存の業務を調査し、設計した業務の標準手続き
 - これらを制約的に類似業務に強いることで、理論上、類似業務の問題の 解決を効率的に実行し、結果的にコスト削減、業務効率の削減を実現す る。
- こうすれば、うまくいくという勝ちパターン・コツ・戦略等
- 各自のまわりにベストプラクティスは存在するか。

25

パッケージソフトウェア

- いわゆるベストプラクティスの集約として設計・実装
- 多くの利用者が使うことを想定し、必要とされる機能をまとめ、 設計及び開発が行われる。
- 各利用者の細かい要望への対応は困難であるが、概ね足りるこ
- 開発コストをすべての利用者で分担するため、利用者が払うコ ストは安い。
- ベストプラクティスをソフトウェアとして実装することで、ベストプラクティスの普及が実現する。
- · 例 → 文書作成(Word)、表計算(Excel)、給与計算等

26

Wired: Open Source Everywhere

- ・ コレラ治療の例
 - + 米WIRED誌2003/11号「Open Source Everywhere」 http://www.wired.com/wired/archive/11.11/opensource.html
 - + 背景: コレラの問題は発展途上国では依然としてシリアスである。
 - 現在の治療は、高価であるか、高いスキルが必要であるが、発展途上国は貧しく、医療スキルが低い。

 - オープンソース現象・群衆の叡智
 ネット上の協働 = 参加者相互の触発 → アイデアの連鎖反応
 低コスト・開線報にの新システム (ベストブラクティス) が産まれる。
 問題解決 (業明らしいインパクト) 及び満足帳 (自分の生きた証)

36

急性期脳硬塞治療支援の例

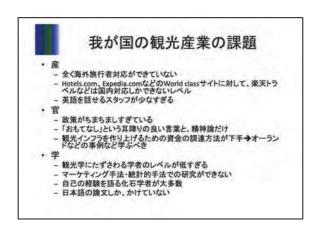
- 脳梗塞等では、病院到着から治療開始までの時間、いわゆる DNT(Door-to-Needle Time)等の短縮が喫緊の課題である。
- IT技術を効果的に活用することで、脳梗塞等の緊急を要する治療のDNT短縮を安定的に実現する。
 - + ベストプラクティスの例: 小倉記念病院の「t-PAスクランブル」
 - 脳梗塞治療のDNT (t-PA投与)の場合:約90分→約30分
- さらには、この取組みの事業展開・普及によって、脳卒中医療 水準の均霑への貢献を狙う。
 - + t-PA投与ができる病院数: 日本で約500病院 (2015年段階、日本)

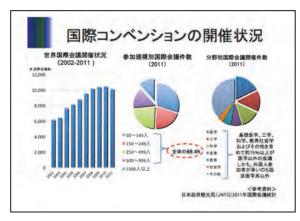


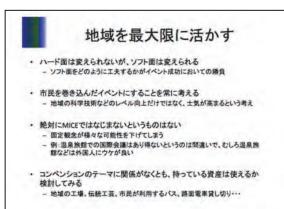


3.4.4 事業アーキテクチャ特論

観光・医療・物販・農業・スポーツ等、次世代成長産業の現状を学ぶ。事業開発・事業改革のため、 各次世代成長産業分野の現状として、IT・マネジメントの活用、業務効率、課題等を俯瞰的に理解し、 事例研究型科目での展開をはかる。

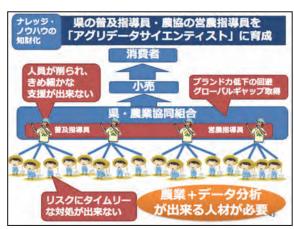








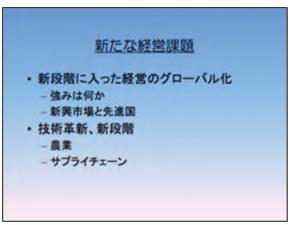


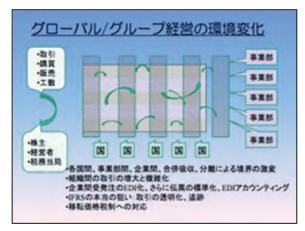


3.4.5 経営戦略特論

企業経営・事業展開で必要とされる経営戦略の基本体系、経営思想、経営計画、事業戦略構築、 組織戦略等を学ぶ。また、経営・事業の戦略の構築・実行・評価のための枠組み・手法を修得する。







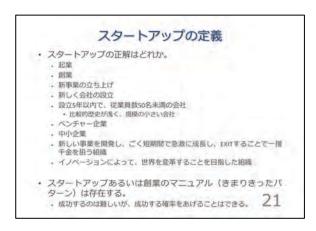


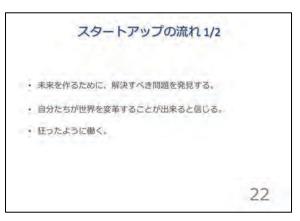




3.4.6 スタートアップ戦略特論

起業あるいは新規事業を立ちあげ、成長を遂げていくためのスタートアップの活動を理解する。活動の流れを体系的に理解し、事業計画、資金調達・キャッシュフロー等の資金管理、人材・知財等の資源管理、ブランディング等のマネジメントを学ぶ。







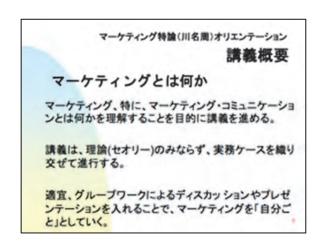


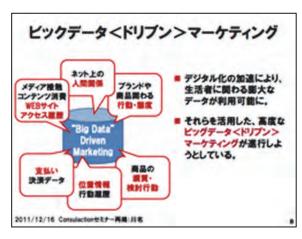




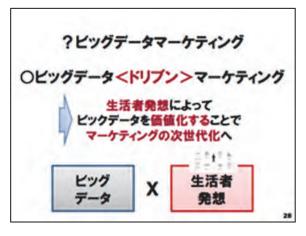
3.4.7 マーケティング特論

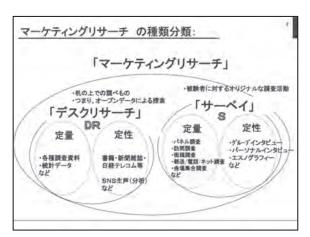
顧客が何を必要としているかというマーケティングの基礎概念から始め、マーケティングに関する 理論・応用・戦略・戦術等を学ぶ。また、グローバル視点、コミュニケーション活動、顧客価値、競争 戦略等のマーケティングに関連する事項を扱う。











-マーケティングリサーチ概論のまとめ・ Markeling Research

1.仮説を持つ。 仮説構築力を磨く。

2.調査は、仮説検証のために使う。
DR:★☆のことは、世の中にある資料でもわかる。
H→DR→Sの3ステップ

3.本質を探る。
表面だけを見ない。
洞察力。